

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

学校名【 水巻町立頃末小学校 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・⑦（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	第6学年 45名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (体育)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<p>○ ボッチャを体験することを通して、パラリンピック競技などパラスポーツに対する興味・関心を持つことができるようにする。</p> <p>○ ボッチャのルールを理解し、チームで作戦を考えて、楽しくゲームをすることができるようにする。</p>
5 取組内容	<p>(1) パラリンピックについて知ろう。(1時間)</p> <p>○ パラリンピックについての映像資料を視聴し、パラリンピック競技について理解するとともに関心を高める。</p> <p>(2) ボッチャ大会をしよう。(4時間)</p> <p>① ボッチャのルールを知り、試しのゲームを行う。</p> <p>② チームづくりをして、作戦を工夫しながらゲームを楽しむ。(2時間)</p> <p>○ ボッチャ大会を行う。</p>



<p>6 主な成果</p>	<p>○特別支援学級の児童も活躍でき、学級の友だちから称賛の声をかけてもらい、楽しく活動することができていた。</p> <p>○どこにボールを投げるか、どのボールにどんな強さで当てるかなど思考する場面が多く、友だちと自然に協力する姿が見られた。</p> <p>○この授業を通して、パラスポーツに興味を持つ児童が増え、パラリンピックを見てみたいという感想を持つ児童がいた。</p> <p>【児童の感想文から】</p> <p>私は、ボッチャをやってみて、知ったことが2つあります。1つ目は、ボッチャは、片足片足が不自由な方でもできるということです。手が不自由な方は、すべり台のようなものを使ってころがすこともできるし、足が不自由な人で、車イスを使えばできるということを知りました。2つ目は、ボールを投げる時のコントロールが難しいことを知りました。だから、投げ方を工夫したり、よくねらいをさだめないし、ボールがすぐに左右に曲がってしまいました。でも、しっかりねらいがさだまっていたら、相手のボールをはじいたり、ジャックボールに近ずけることができたのでとても楽しかったです。</p> <p>ボッチャをやってみて、チームの皆で協力して、良いボールを投げるのが、盛り上がり、楽しかったです。ボールを投げる時は、真んすぐ投げたり、ジャックボールの近くに投げたりするのが難しかったです。体が不自由な人でも、楽しくできそうな競技で、とてもおもしろかったです。</p> <p>パラリンピックの競技に、結局興味を持ちました。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○体育科のゲームの学習に準じた学習過程を仕組み、児童が作戦を工夫しながら協力して勝利をめざす中で、ボッチャの楽しさにふれることができたようにした。</p> <p>また、多様な人々が一緒に楽しむことができるというボッチャの特性にふれることができるように、特別支援学級(情緒及び知的)在籍児童を含む学年全員で取り組むこととした。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○ボッチャの道具が少ない。学校全体で取り組む時など、障がい者施設などから借りる必要がある。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○総合的な学習の時間や体育科など年間指導計画の中で他の学年でも「ボッチャ」などパラスポーツを位置付ける。</p>